

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和7年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
1	秩父市	地域の交通や物流の結節点を核としたコンパクトかつ災害時にも強いまちづくり推進事業	大滝振興会館の一部の会議室を荷物仕分け用の部屋として仮整備し、地元配送事業者が配送を請け負うための拠点としての検証を行う。	ハード	主要宅配事業者（複数事業者）における域内の1日あたりの物流トラック運行台数	令和5年度	5台 (令和5年4月時点)	2台 (令和6年3月時点)	5台 (令和6年3月時点)	C	配送事業者の変更に伴う新たな事業者の選定に時間を要したことにより、共同配送事業の本格実装が遅れたため、物流トラック運行台数の目標値を達成することができなかった。 令和5年度の検証の結果、配送拠点としての有効性は認められたため、今後の物流拠点としての本格運用に向け、令和6年度も引き続き拠点整備を行い、共同配送事業を推進していく。
2	小川町	小川町版スーパー・シティプロジェクト	①学校跡地の校庭に新設する道路に埋設する上水道のインフラ整備工事 ②ドローンスクール等の事業に支障が出ないよう小学校跡地の校庭と新設道路との間の外柵設置工事 ③事業を展開するための中学校跡地の校庭の宅地整地	ハード	学校跡地に進出が決定した民間事業者数	令和5年度	1 (令和5年4月時点)	3 (令和6年3月時点)	8 (令和6年3月時点)	A	
3	横瀬町	賑わいづくりに向けた道標等整備事業	町の中心である横瀬駅周辺エリアの賑わい創出のためにエリア内の回遊を促進する道標等を整備する。	ハード	観光入込客数	令和5年度	574,000人 (令和3年12月時点)	800,000人 (令和6年12月時点)	689,000人 (令和6年12月時点)	C	町内には二次元コード付き道標として整備されていない道標のほうが多く、取り組みをPRしにくい状況にあったため、観光入込客数は増えているものの目標値に届かなかった。 今後は町内全域の道標から必要な情報を得ることができ、快適な町内周遊や満足度の向上を目指す。残りの道標を整備してだけでなく、二次元コードから読み取れる情報の精査をしていく。

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和7年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
4	熊谷市	暑さ対策スマートパッケージ事業	LINEの熊谷市公式アプリ「クマぶら」で、まちなかの暑くなるエリアを特定するためのデータ作成等を実施し、「クマぶら」で発信する。	ソフト	クールシェアスポット（暑さ対策スマートパッケージ）の利用人数＝クマポ獲得数	令和6年度	0人 (令和6年2月時点)	6,000人 (令和6年9月時点)	1,901人 (令和6年9月時点)	C	熊谷市コミュニティポイント「クマポ」の導入開始が、システムトラブルにより当初予定の令和6年1月から4月となり、事業実施期間における「クマポ」の市民への周知、認知度が低かったことにより、目標達成には至らなかった。 実施後の利用者アンケートの意見として、事業のコンテンツの見方、使い方が分かりにくいという意見があったため、各コンテンツを説明するホームページを作成する。また、スポット利用者が「クマポ」を認知し、獲得しやすくするために、獲得方法を多様化（スポット内での二次元コードでの獲得だけでなく、チラシとして持ち帰ることができる一回限り有効な二次元コードを配架）する。
		コミュニティポイント普及促進事業	LINEの熊谷市公式アプリ「クマぶら」で市民同士の共助等への感謝の気持ちとして受け渡しができるコミュニティポイント「クマポ」を使って参加できる抽選イベント機能を実装し、ポイントの循環による市民同士のつながりづくりを促進する。	ソフト	抽選企画利用者数	令和6年度	0人 (令和6年3月時点)	500人 (令和7年3月時点)	383人 (令和6年12月時点)	B	
5	上尾市	上尾市役所本庁舎太陽光発電設備構造計算調査委託事業	災害時・停電時の地域レジリエンス強化のため、市の中央拠点にあり、地域防災拠点でもある市役所本庁舎に太陽光発電設備を設置するに当たり、太陽光パネルの耐荷重計算に係る構造計算調査を行う。	ソフト	各拠点の公共施設における太陽光発電設備構造計算の調査件数	令和6年度	0件 (令和5年12月時点)	1件 (令和7年3月時点)	1件 (令和7年3月時点)	A	
		かわまちづくり社会実験	平方拠点におけるコミュニティの醸成や賑わいの創出を図るため、荒川堤防整備地区周辺における社会実験イベントを通じて地域住民や来訪者のニーズ等について調査し、民間事業者等との連携を検討する。	ソフト	令和6年10月に開催予定の社会実験イベント当日（1日）の集客数	令和6年度	自転車：400～500台/日 歩行者：60～100人/日 (令和5年10月時点)	自転車：700台/日 歩行者/500人/日 (令和6年10月時点)	来場者*：1,311人 (令和6年10月時点)	A	*当日の来場者の集計においては、自転車と歩行者を分けての集計を行っていないため、両方をまとめた値としている。

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和7年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
6	草加市	谷塚駅西口地区市街地整備事業	草加市南部の拠点として谷塚駅西口地区にウォークアブルなまちなみを形成し、地域の生活利便性を向上させるため、民間活力の導入や適切な整備手法、にぎわい創出のために柔軟に対応できる広場等整備について検討を行う。	ソフト	谷塚駅西口地区市街地整備に係る「まちづくり基本計画」の策定の進捗	令和6年度	0% (令和6年4月時点)	100% (令和7年3月時点)	100% (令和7年3月時点)	A	
7	蕨市	にぎわい交流拠点整備事業	蕨市役所仮設庁舎跡地を活用した集客の核となる拠点を整備し、中山道蕨宿周辺に回遊性を生むにぎわいを創出するため、事業者へのヒアリング調査等により民間事業者導入可能性調査を行う。	ソフト	ヒアリングを実施して有効な回答を得られた事業者数	令和6年度	0事業者 (令和6年4月時点)	35事業者 (令和7年3月時点)	48事業者 (令和7年3月時点)	A	
8	入間市	入間市版スーパーシティ構想 (高齢者の外出モチベーション向上推進事業)	現状のコミュニティバスにおける利用状況や利用者の意見を把握し、現状と課題を整理することにより、デマンド交通の活用等による高齢者の外出促進と健康増進を目指す。	ソフト	利用実態調査により得られたデータを整理し、項目ごとに分析を行う	令和6年度	0項目 (令和6年4月時点)	5項目以上 (令和7年3月時点)	7項目 (令和7年3月時点)	A	
		入間市版スーパーシティ構想 (地区センター整備事業)	黒須地区センターにおいて、福祉総合相談窓口の利用環境の充実などさらなる地域住民の利便性向上を目的に、地域の拠点施設として再整備するための基本計画等を作成する。	ソフト	再整備に当たって必要となる機能の明確化*	令和6年度	0 (令和6年4月時点)	1 (令和7年3月時点)	1 (令和7年3月時点)	A	*目標値及び実績値は、基本計画・要求水準書等により明確化できていたら「1」、達成できていなければ「0」という記載方法としている。 整備基本計画案を作成することにより、再整備に必要な機能を明確化することができた。
		入間市版スーパーシティ構想 (EV活用再生可能エネルギーマネジメント事業)	過年度に導入した市役所本庁舎及び健康福祉センターに加え、藤沢地区センターにおいてEVを導入し、EVシェアリング事業を横展開することでEVを効率的に活用する。 また、EVと可搬式パワーコンディショナーを併用し、家庭用電気機器への給電をスムーズに行える体制を構築することで、地域の防災レジリエンスを強化する。	ソフト	EV等の災害対応訓練での活用	令和6年度	1件 (令和6年4月時点)	2件 (令和7年3月時点)	2件 (令和7年3月時点)	A	
9	和光市	和光市版スーパーシティ構想	和光市駅北口駅前の魅力と安全性を向上させ、地域の賑わいづくりにつながる駅前広場の整備に向け、市民参加型のワークショップの開催により市民の意見を聴取し、整備方針の検討を進める。	ソフト	ワークショップの参加人数	令和6年度	0人 (令和6年5月時点)	50人 (令和7年5月時点)	46人 (令和7年5月時点)	A	

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和7年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
10	新座市	公共施設再配置による集約化・複合化等検討事業	コンパクトシティ実現に向けた市内公共施設の集約化や複合化等の再配置検討のため、市内約140の公共施設を対象として、立地特性や利用状況等の現状把握や課題整理を踏まえた施設評価、市民アンケート調査等を行う。	ソフト	評価を行う施設数	令和6年度	0施設 (令和6年4月時点)	140施設 (令和7年3月時点)	144施設 (令和7年3月時点)	A	
11	桶川市	日出谷地区公共施設等整備事業基礎調査委託	日出谷地区において、住民ニーズに即した持続可能なコミュニティ拠点の形成を図るため、地域の交流や生涯学習、子育て支援などを担う公共機能について整理するとともに、公共機能との相乗効果が期待できる民間機能の導入に向け、民間事業者の進出意欲調査や、民間活力の導入可能性の概略検討など施設整備に必要となる諸条件について調査・検討し、事業スキームの全体像を整理した。	ソフト	対話型市場調査の実施件数	令和6年度	0 (令和6年4月時点)	20 (令和7年3月時点)	26 (令和7年3月時点)	A	
12	北本市	北本団地活性化プロジェクトの推進	商店街の空き店舗等の地域資源を活用した新たな居場所づくりや、北本団地に関わる多様なプレイヤーの連携体制を構築するため、令和5年度ガバメントピッチにおいてマッチングした街活室株式会社と協働した事業を実施する。 具体的には、新たな居場所づくりに向けた議論等を行うワークショップを実施するほか、既存の人材マッチングシステム「マチカツ」にノウハウを持つ地域住民を登録し、共有することで住民を巻き込んだ新たな取組の創出を図る。	ソフト	北本団地における居場所、取組の創出数	令和6年度	0 (令和6年3月時点)	1 (令和7年3月時点)	4 (令和7年3月時点)	A	
13	日高市	庁舎屋上太陽光発電設備増設設計事業	災害時の復旧拠点としての機能強化を目的に、市庁舎の屋上に太陽光発電設備を増設するため、現地調査及び竣工図書等資料を精査のうえ、増設量を検討し、工事設計図書を作成する。	ソフト	太陽光発電設備による発電量	令和6年度	13,960kw・h/年 (令和5年3月時点)	41,880kw・h/年* (令和7年5月時点)	97,002kw・h/年* (令和7年2月時点)	A	* 既設の発電設備分+増設見込みの発電量となっている。

埼玉版スーパー・シティプロジェクト推進補助金活用事業成果検証について

成果検証実施年度 令和7年度

番号	補助事業者	補助事業名	事業概要	事業区分	成果指標	事業期間	従前値	目標値	実績値	達成度	達成できなかった理由・その他備考
14	伊奈町	町のにぎわい創出事業	地域活性化エリアにある伊奈中央駅及び志久駅の駅前のスペースや駅前広場を活用した魅力づくりの一環として、町のにぎわい創出に係る具体的施策等を検討するため、対象エリアの現況整理、先進事例等の調査・分析、導入機能の可能性検討、民間事業者等へのヒアリング調査等を行う。	ソフト	調査によって検討された効果的な施策や事業案の数	令和6年度	0 (令和6年4月時点)	2 (令和7年3月時点)	3 (令和7年3月時点)	A	
		町内循環バス等運行検討事業	地域公共交通の最適なあり方や町内循環バスの新たな運行体制を検討するため、民間バスの利用状況の分析、町内循環バス停留所の最適配置やAIオンデマンドバスの導入可能性の検討等を行う。	ソフト	調査によって検討された地域公共交通のあり方のケース数	令和6年度	0 (令和6年10月時点)	3 (令和7年3月時点)	3 (令和7年3月時点)	A	
15	神川町	新スマート物流導入調査事業	既に顕在化している地域物流の担い手不足を解決し、新たな生活インフラの構築を図るため、地域内流通荷物量調査や地域事業者へのヒアリングによる配送ニーズの調査、ドローン配送適用エリアの調査など、ドローンを活用した共同配送システムの実装に向けた調査を実施する。	ソフト	地域課題の抽出に向けた地元事業者、物流事業者へのヒアリング社数	令和6年度	0件 (令和6年4月時点)	20社 (令和7年1月時点)	20社 (令和7年1月時点)	A	